

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科

学校のウェブサイト <http://www.osaka-sandai.ac.jp/cgi-bin/cms/index.cgi>
適用可能な級・部門 2級ビオトープ計画管理士・2級ビオトープ施工管理士

授業の組み合わせパターン 1 (2013年度以降入学生)

ビオトープ管理士資格試験 試験科目	左に該当する授業の名称
共通科目	
生態学	流域環境と生物 植生と生態系保全
ビオトープ論	自然再生計画論 自然再生施工論
環境関連法	環境法 自然と人の共生 流域環境と生物 植生と生態系保全 食農環境論 水環境論 環境アセスメント論 自然再生計画論 廃棄物概論
専門科目	
計画部門	自然再生計画論
施工部門	自然再生施工論

平成26年3月31日現在

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合には、この綴りの後ろにある『履修状況申告書』に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は、『ビオトープ管理士資格試験受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科

学校のウェブサイト <http://www.osaka-sandai.ac.jp/cgi-bin/cms/index.cgi>
 適用可能な級・部門 2級ビオトープ計画管理士・2級ビオトープ施工管理士

授業の組み合わせパターン 2

ビオトープ管理士資格試験 試験科目	左に該当する授業の名称
共通科目	
生態学	生活環境と生態系（流域環境と生物） 環境と植生（植生と生態系保全） 外来生物と環境攪乱
ビオトープ論	ゼミナール1[ビオトープ計画論]（自然再生計画論） ゼミナール3[ビオトープ施工論]（自然再生施工論） 自然再生の手法（2013年度閉講）
環境関連法	環境法 人と自然の共生（自然と人の共生） 水環境論（2014年度のみ開講せず） 戦略的環境アセスメント（環境アセスメント論） 環境政策論 自然再生の手法（2013年度閉講） 生活環境と生態系（流域環境と生物） 生活都市計画論（2013年度閉講） 農業と環境（食農環境論） 廃棄物概論
専門科目	
計画部門	ゼミナール1[ビオトープ計画論]（自然再生計画論）
施工部門	ゼミナール3[ビオトープ施工論]（自然再生施工論）

平成26年3月31日現在

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合には、この綴りの後ろにある『履修状況申告書』に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は、『ビオトープ管理士資格試験受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ
受験する部門	2級ビオトープ計画管理士 <small>この制度は、1級の受験には適用されません。</small>
卒業した日	大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 を ()年 ()月 ()日に卒業/卒業見込み <small>制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。</small>

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門や履修のパターンによって異なります)について、履修(単位取得)済みか、受験する年度内に履修済みの見込みであるかを確認し、授業の名称の左側の欄の該当する方に“○”印を記入してください。

“○”の付かない授業がある場合、つまり、履修していない授業、単位を取得していない授業、受験する年度内に単位取得の見込みがない授業がある場合は、この制度は適用できません。

「履修済み」・「履修済みの見込み」いずれの場合も、合格後には学校が発行する証明書を提出していただきます。

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科			
授業の組み合わせパターン 1 (2013年度以降入学生)			
履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		流域環境と生物	生態学、環境関連法
		植生と生態系保全	生態学、環境関連法
		自然再生計画論	ビオトープ論、環境関連法、計画部門
		自然再生施工論	ビオトープ論
		環境法	環境関連法
		自然と人の共生	環境関連法
		食農環境論	環境関連法
		水環境論	環境関連法
		環境アセスメント論	環境関連法
		廃棄物概論	環境関連法

↑いずれかに○を記入↑

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ
受験する部門	2級ビオトープ施工管理士 <small style="float: right;">この制度は、1級の受験には適用されません。</small>
卒業した日	大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 を () 年 () 月 () 日に卒業/卒業見込み <small style="float: right;">制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。</small>

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門や履修のパターンによって異なります)について、履修(単位取得)済みか、受験する年度内に履修済みの見込みであるかを確認し、授業の名称の左側の欄の該当する方に“○”印を記入してください。“○”の付かない授業がある場合、つまり、履修していない授業、単位を取得していない授業、受験する年度内に単位取得の見込みがない授業がある場合は、この制度は適用できません。「履修済み」・「履修済みの見込み」いずれの場合も、合格後には学校が発行する証明書を提出していただきます。

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科			
授業の組み合わせパターン 1 (2013年度以降入学生)			
履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		流域環境と生物	生態学、環境関連法
		植生と生態系保全	生態学、環境関連法
		自然再生計画論	ビオトープ論、環境関連法
		自然再生施工論	ビオトープ論、施工部門
		環境法	環境関連法
		自然と人の共生	環境関連法
		食農環境論	環境関連法
		水環境論	環境関連法
		環境アセスメント論	環境関連法
		廃棄物概論	環境関連法

↑いずれかに○を記入↑

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ
受験する部門	2級ビオトープ計画管理士 <small style="float: right;">この制度は、1級の受験には適用されません。</small>
卒業した日	大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 を ()年 ()月 ()日に卒業/卒業見込み <small style="float: right;">制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。</small>

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門や履修のパターンによって異なります)について、履修(単位取得)済みか、受験する年度内に履修済みの見込みであるかを確認し、授業の名称の左側の欄の該当する方に“○”印を記入してください。“○”の付かない授業がある場合、つまり、履修していない授業、単位を取得していない授業、受験する年度内に単位取得の見込みがない授業がある場合は、この制度は適用できません。
「履修済み」・「履修済みの見込み」いずれの場合も、合格後には学校が発行する証明書を提出していただきます。

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科

授業の組み合わせパターン 2

履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		生活環境と生態系(流域環境と生物)	生態学、環境関連法
		環境と植生(植生と生態系保全)	生態学
		外来生物と環境攪乱	生態学
		ゼミナール1[ビオトープ計画論](自然再生計画論)	ビオトープ論、計画部門
		ゼミナール3[ビオトープ施工論](自然再生施工論)	ビオトープ論
		自然再生の手法(2013年度閉講)	ビオトープ論、環境関連法
		環境法	環境関連法
		人と自然の共生(自然と人の共生)	環境関連法
		水環境論(2014年度のみ開講せず)	環境関連法
		戦略的環境アセスメント(環境アセスメント論)	環境関連法
		環境政策論	環境関連法
		生活都市計画論(2013年度閉講)	環境関連法
		農業と環境(食農環境論)	環境関連法
		廃棄物概論	環境関連法

↑いずれかに○を記入↑

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ	
受験する部門	2級ビオトープ施工管理士	
卒業した日	大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 を ()年 ()月 ()日に卒業/卒業見込み	

この制度は、1級の受験には適用されません。
制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門や履修のパターンによって異なります)について、履修(単位取得)済みか、受験する年度内に履修済みの見込みであるかを確認し、授業の名称の左側の欄の該当する方に“○”印を記入してください。“○”の付かない授業がある場合、つまり、履修していない授業、単位を取得していない授業、受験する年度内に単位取得の見込みがない授業がある場合は、この制度は適用できません。「履修済み」・「履修済みの見込み」いずれの場合も、合格後には学校が発行する証明書を提出していただきます。

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科			
授業の組み合わせパターン 2			
履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		生活環境と生態系(流域環境と生物)	生態学、環境関連法
		環境と植生(植生と生態系保全)	生態学
		外来生物と環境攪乱	生態学
		ゼミナール1[ビオトープ計画論](自然再生計画論)	ビオトープ論
		ゼミナール3[ビオトープ施工論](自然再生施工論)	ビオトープ論、施工部門
		自然再生の手法(2013年度閉講)	ビオトープ論、環境関連法
		環境法	環境関連法
		人と自然の共生(自然と人の共生)	環境関連法
		水環境論(2014年度のみ開講せず)	環境関連法
		戦略的環境アセスメント(環境アセスメント論)	環境関連法
		環境政策論	環境関連法
		生活都市計画論(2013年度閉講)	環境関連法
		農業と環境(食農環境論)	環境関連法
		廃棄物概論	環境関連法

↑いずれかに○を記入↑

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名